

## 事務事業評価調書

事務事業名	議員報酬等関係事業				
担当部名	議会事務局	室課名	議会総務課	室課長名	古川 純子

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	期末手当支給月数の改正。(平成27年度:12月期2.025月→2.2月、平成28年度:6月期1.875月→2.0月、12月期2.2月→2.15月)											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	吹田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例、地方公務員等共済組合法及び同法施行令													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために		節	4	細節	0						
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他	範囲等 議員報酬、期末手当、市議会議員共済会負担金の支払い								
		目標 (どういう状態にしたいのか)	上記対象の支払を間違いや遅滞なく確実にを行う。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	パソコンを使ったデータ管理を行うことにより効率的に、かつチェック方法の確立で、正確な事務処理を行っている。												
(7)	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市議会議員に対し報酬及び期末手当を支給する。(報酬月額:議長740,000、副議長700,000円、議員650,000円。ただし、平成25年6月1日から平成27年5月26日までは報酬月額:議長666,000円、副議長630,000円、議員585,000円。期末手当支給月数:6月期1.875か月、12月期2.2か月。)</li> <li>市議会議員共済会に対し、定められた負担金を支払う。</li> </ul>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	項	1	目	1	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		485,645	485,644	544,245	544,582	502,931							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
			総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,506	2,451						
		総事業費(A+B)		488,135	488,029	546,751	547,088	505,382							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		488,135	488,029	546,751	547,088	505,382							
(内訳)	地方債		0	0	0	0	0								
	その他		0	0	0	0	0								
	一般財源		488,135	488,029	546,751	547,088	505,382								
財源計(C+D)		488,135	488,029	546,751	547,088	505,382									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ・議員報酬及び期末手当の支給。 市議会議員共済会への負担金の支払い。	目標値	(単位:回)	19.00	21.00	/
			実績値	(単位:回)	19.00	22.00	
			達成度(%)		100.0	104.8	
	目標値の積算方法 ・議員報酬等の支払い回数の総数 ・共済会への支払い回数の総数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	25,685.74	24,867.64		
			一般財源(単位:千円)	25,685.74	24,867.64		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 ・議員報酬及び期末手当の支給。 市議会議員共済会への負担金の支払い。	目標値	(単位:回)	19.00	21.00	/
			実績値	(単位:回)	19.00	22.00	
			達成度(%)		100.0	104.8	
	目標値の積算方法 ・議員報酬等の支払い回数の総数 ・共済会への支払い回数の総数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	25,685.74	24,867.64		
			一般財源(単位:千円)	25,685.74	24,867.64		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	正確に遅滞なく行うことができた。			達成状況	達成できた。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本事業は、成果・コストともに最適であり、今後も継続してこの状況を維持する必要がある。				

## 事務事業分析シート

所属名	議会総務課	事業名	議員報酬等関係事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00815				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	議会総務課	事務事業番号	00815
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (Justification), 有効性 (Effectiveness), 効率性 (Efficiency), 公平性 (Fairness), and 持続可能性 (Sustainability). The scale ranges from 0 to 20. The scores are approximately: 妥当性: 18, 有効性: 15, 効率性: 10, 公平性: 10, 持続可能性: 15.</p>		
(3)現状分析	本事業は、成果・コストともに最適であり、今後も継続してこの状況を維持する必要がある。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	市議会会議録作成事業				
担当部名	議会事務局	室課名	議会総務課	室課長名	岡本 太郎

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	本会議録については、議会会議規則の一部改正により、昭和39年3月定例会の会議録から印刷配布することになった。また、昭和63年4月に会議録配布要領を制定した。											
(2) 直近の改正	昭和39年度													
(3) 根拠法令等	地方自治法第123条、委員会条例第27条													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	2	市民自治が育む自立のまちづくり	節	2	細節	40							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、議員											
	結果(どのような効果が得られるのか)	法令等で定められた会議録を作成、配付することで、情報の共有化を図る。												
(7) 事業概要	法令等で定められた市議会(本会議及び常任・特別委員会)の会議録を作成し、議員に配付する。また、市民が閲覧できるように各図書館等に開架する。													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	1	項	1	目	1	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		10,714	7,433	11,676	6,753	11,203							
	人件費	職員数	人	4.30	4.30	4.30	4.30	4.30						
		総額(B)	千円	35,690	34,173	35,914	35,914	35,131						
	総事業費(A+B)		46,404	41,606	47,590	42,667	46,334							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		46,404	41,606	47,590	42,667	46,334							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		46,404	41,606	47,590	42,667	46,334								
財源計(C+D)		46,404	41,606	47,590	42,667	46,334								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	神戸総合速記(株)										
			②											
			③											
	主な委託内容		本会議速記事、委員会等音声データ反訳業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 本会議録・委員会記録の作成回数	目標値	(単位:回)	38.00	36.00	37.00
			実績値	(単位:回)	38.00	32.00	
			達成度(%)		100.0	88.9	
	目標値の積算方法	本会議録・委員会記録の作成回数(実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,094.89	1,333.34
				一般財源(単位:千円)		1,094.89	1,333.34
	②	指標内容 本会議録・委員会記録の発行部数	目標値	(単位:冊)	2,320.00	2,040.00	1,875.00
実績値			(単位:冊)	2,320.00	1,825.00		
達成度(%)			100.0	89.5			
目標値の積算方法		1回当たり:本会議録55部(3月(改選期)のみ75部)、委員会記録等は50部	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		17.93	23.38
				一般財源(単位:千円)		17.93	23.38
(2) 成果指標		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す	①	活動内容		目標			
	②	成果内容	市民の市政に対する関心と参画意識の向上	達成状況	本事業の成果のみを把握することは困難であるが、市民の市政に対する関心などにつながる重要な事業と考えている。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>市議会あるいは市政全般の情報を、主に市民へ周知するための基礎となる重要な事業であり、今後も継続して実施することが不可欠である。なお、本会議録公開の即応性を図るため、平成24年5月定例会分から、校正前の会議録初稿を会議録速報版としてホームページで、本会議閉会后おおむね20日以内に公開している。</p> <p>本会議における一問一答方式の導入など質問方法の見直し等に伴う本会議の長時間化、また常任委員会等の長時間化等により、以前と比較すると作成すべき記録の量が大幅に増加しており、それに伴い筆耕翻訳料や印刷製本費などの経費が増加している。このような現状を踏まえ、人件費も含めたフルコストでの費用対効果の観点から、より効率的に会議録の作成ができるよう改善を図りながら事業を進めている。</p> <p>なお、平成26年度の途中から議会改革の一環として、「配布資料のペーパーレス化」を行い、本会議録や委員会記録の議員への配付は希望する議員のみに変更した。現段階では、印刷製本費の総額が大幅に減少するような効果は見られないが、紙資源使用の低減につながっており、今後も議員の意向を確認しながら取り組んでいく。</p>				

## 事務事業分析シート

所属名	議会総務課	事業名	市議会会議録作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00816				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	議会総務課	事務事業番号	00816
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成25年度から、本会議及び委員会記録等の職員や一部公共施設への配付を見直し、本会議録の発行部数を150部から70部、それ以外の委員会記録等を60部に変更した。さらに、平成26年11月19日開催の議会改革特別委員会で議員への配付を見直し、平成27年度の本会議録の発行部数を65部、それ以外の委員会記録等を55部に変更し、平成28年度には、本会議録の発行部数を55部、それ以外の委員会記録等を50部に変更する。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>法令等に基づき市議会会議録等の作成が義務付けられているが、単に会議録を正確に作成し、迅速に公開するだけでなく、広く市民等に情報共有を図ることにも努めている。また、本事業自体が、市議会や市政状況を市民等に周知するための市議会会議録検索システム事業や議会だより作成事業を始めとした事業の基礎となっている。</p> <p>以上のことから、客観的な成果を示す指標は設定できないが、事業目的は達成できていると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	市議会会議録検索システム事業				
担当部名	議会事務局	室課名	議会総務課	室課長名	議事課長 岡本 太郎

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成13年度	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	2	市民自治が育む自立のまちづくり	節	2	細節	40							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民、議員、職員											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	①議会情報の公開の促進及び公開方法の多様化 ②本会議録、委員会記録の閲覧及び検索の迅速化、正確性の向上 ①議会を含めた行政への関心を高め、市政への参加、参画を促す ②事務の効率化を進める												
(7) 事業概要	本会議録、委員会記録をインターネットで閲覧、検索できるシステムを運用することにより、行政情報提供の機会を増やし、開かれた議会を目指すとともに、質問・答弁の検索を容易かつ正確にし、事務の効率化を図る。 また、本会議放映システムとの連動を行い、過去の映像及び会議録を同時に検索可能とする。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	項	1	目	1	大事業	4	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,314	1,108	1,333	1,067	1,288							
	人件費	職員数	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40							
		総額(B)	3,320	3,179	3,341	3,341	3,268							
	総事業費(A+B)		4,634	4,287	4,674	4,408	4,556							
	(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
		国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
	(内訳)	市負担(D)		4,634	4,287	4,674	4,408	4,556						
		地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	一般財源		4,634	4,287	4,674	4,408	4,556							
財源計(C+D)		4,634	4,287	4,674	4,408	4,556								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)会議録研究所										
			②											
			③											
主な委託内容		機器、システムのホスティング、データ変換												
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 本会議、委員会記録の作成回数	目標値	(単位:回)	38.00	36.00	36.00	
			実績値	(単位:回)	38.00	33.00		
			達成度(%)		100.0	91.7		
	目標値の積算方法	本会議録、委員会記録の作成に伴うデータの更新回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		112.82	133.58	
				一般財源(単位:千円)		112.82	133.58	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 インターネット上の会議録検索システムの閲覧カウント	目標値	(単位:件)	35,000.00	36,000.00	36,000.00
	実績値			(単位:件)	42,391.00	42,306.00		
	達成度(%)			121.1	117.5			
	目標値の積算方法	市民の10分の1が年1回閲覧	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.10	0.10	
				一般財源(単位:千円)		0.10	0.10	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容			目標			
②	成果内容			達成状況				
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
評価の説明		近年、地方分権の推進や、地方議会改革が求められており、市民等への情報公開の必要性がますます高まる中、今後、会議録検索システムの重要度も一層高まるものと考えられる。本会議放映システムと連動させたこと等により、閲覧件数が増加しており、投じた費用に見合う効果が得られていると判断されるため、今後も継続すべき事業と考える。						

## 事務事業分析シート

所属名	議会総務課	事業名	市議会会議録検索システム事業	事業区分	その他
事務事業番号	00817				

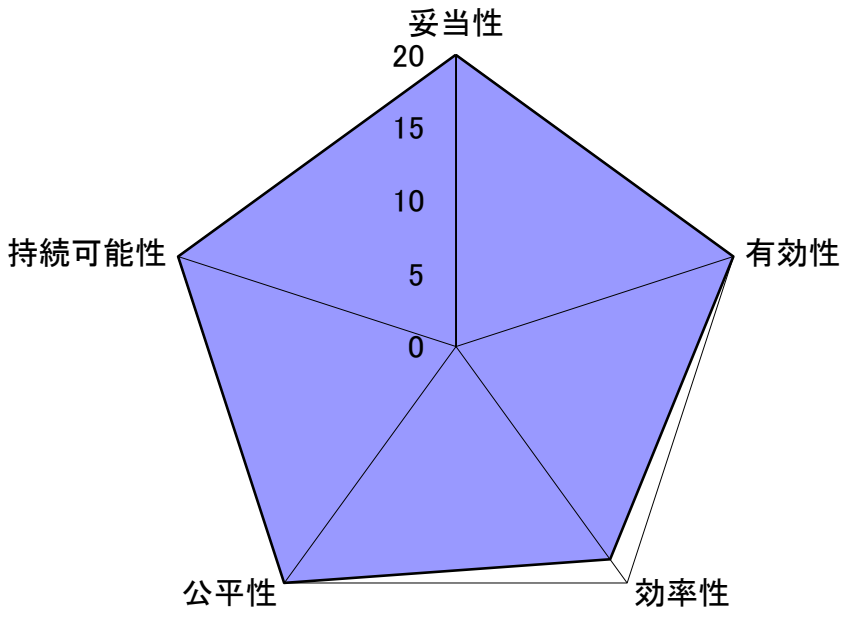
### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	議会総務課	事務事業番号	00817
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>会議録作成業務において作成した会議録のデータを用いて、本事業を行っている。そのため事業手法には選択の余地が少なく、効率性の評価においては改善が難しい部分もある。ただ、市民が議会での議論の内容を正確にかつ迅速に知るためには、本システムは欠くことのできないものである。</p> <p>また、本会議放映システムと連動させたことで、録画放映の映像からも検索できるようになり、視覚的にとらえることができるようになったため、検索の容易性と市民等の関心度がさらに高まったと思われる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	議会だより作成事業				
担当部名	議会事務局	室課名	議会総務課	室課長名	議事課長 岡本 太郎

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和30年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	すいた市議会だより発行規程													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	2	市民自治が育む自立のまちづくり	節	2	細節	40							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民、市内通勤・通学者、議員、職員等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	議会だよりを全戸配布し、議会に関する情報提供を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	議会を含めた行政への関心を高め、市政への参加、参画を促す。													
(7)	事業概要	「すいた市議会だより」を市報すいたと合同で年6回発行し、議事の内容や議会の活動を市民に情報提供する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	1	項	1	目	1	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		8,163	6,983	7,345	7,245	6,890							
		人件費	職員数	人	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20						
			総額(B)	千円	18,260	17,484	18,375	18,375	17,974						
		総事業費(A+B)		26,423	24,467	25,720	25,620	24,864							
		特定財源(C)		340	242	301	0	276							
		(内訳)	国		227	161	201	0	184						
			府		113	81	100	0	92						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		26,083	24,225	25,419	25,620	24,588							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			26,083	24,225	25,419	25,620	24,588								
財源計(C+D)		26,423	24,467	25,720	25,620	24,864									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)高速オフセット										
				②	一般財団法人 大阪府視覚障害者福祉協会										
				③											
		主な委託内容		印刷、声の市議会だより作成・発送											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 すいた市議会だよりの発行	目標値	(単位:回)	6.00	6.00	6.00	
			実績値	(単位:回)	6.00	6.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	年間の発行回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4,078.00	4,270.00	
				一般財源(単位:千円)		4,027.83	4,270.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
				目標				
		すいた市議会だよりの配布		達成状況	市報すいたと合同発行し、広報課の委託先が市内全戸に配布している。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		近年、地方分権の推進や、地方議会改革が求められており、情報公開の必要性がますます高まる中、すいた市議会だよりは、広く市民に議会の情報を提供するツールとして重要な役割を果たしている。事業費についても、平成24年度(2012年度)から市報と合同発行を開始し、市内全世帯及び駅置き分の配布委託料が不要となったことにより、単価が下がり、費用対効果は高く、今後も継続すべき事業と考える。なお、平成26年9月定例会から、市議会だよりの内容を少しでも早く市民に提供するため、市議会だよりが発行されるまでの間、市議会だよりの(速報版)をホームページで定例会終了後、おおむね1か月後に掲載している。					

## 事務事業分析シート

所属名	議会総務課	事業名	議会だより作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00818				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	議会総務課	事務事業番号	00818
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成26年9月定例会から、議会だよりの閲覧の即時性を図るため、発行されるまでの間、議会だより(速報版)をホームページで定例会終了後、おおむね1か月後に掲載している。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成24年(2012年)3月定例会号から市報すいたと合同で発行しており、今まで以上に市民に読んでもらえる機会が増えていると思われる。また、定例会号でタブロイド判4ページがA4判で16ページに増えたことで、その内容も大幅に充実している。</p> <p>議会の情報が自宅等で容易に一覧できる議会だよりは、市民の議会への関心を高めるためには非常に重要なものである。インターネットを利用する環境にない市民だけでなく、議会への関心を持ってもらうための第一歩として、広く市民に読んでもらえるようなものとする必要があると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	資料作成事業				
担当部名	議会事務局	室課名	議会総務課	室課長名	議事課長 岡本 太郎

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和44年度	改正内容	なし					
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	なし							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章 2	市民自治が育む自立のまちづくり	節 2	細節 40				
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市民、議員、職員						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	本市の事業、予算・決算状況等について、情報共有を図る。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	議会の審議が活性化するとともに、市民の市政への参画意識が高まる。							
(7)	事業概要	本市の事業概要を掲載する「市政概要」、府内各市・全国の施行時特例市の予算・決算状況を調査し、まとめた「調査資料」、本市の当初予算の主要な事務事業をまとめた「予算統計」等を作成し、配付するとともに、一部をホームページで公開する。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計 1	款 1	項 1	目 1	大事業 6	中事業 1	小事業 1	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		632	473	862	728	648	
		人件費	職員数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
			総額(B)	千円	4,980	4,769	5,012	5,012	4,902
		総事業費(A+B)		5,612	5,242	5,874	5,740	5,550	
		特定財源(C)		0	0	0	0	0	
		(内訳)	国		0	0	0	0	0
			府		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
		市負担(D)		5,612	5,242	5,874	5,740	5,550	
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
			その他		0	0	0	0	0
一般財源			5,612	5,242	5,874	5,740	5,550		
財源計(C+D)		5,612	5,242	5,874	5,740	5,550			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	西村印刷(株)				
				②	中尾印刷(株)				
				③					
		主な委託内容		印刷、製本					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 資料の作成	目標値	(単位:回)	4.00	4.00	4.00	
			実績値	(単位:回)	4.00	0.00		
			達成度(%)		100.0	0.0		
	目標値の積算方法	資料作成回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,310.50	0.00	
				一般財源(単位:千円)		1,310.50	0.00	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		議員、職員への配付部数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 資料の配付	目標値	(単位:部)	810.00	810.00	810.00
	実績値			(単位:部)	810.00	0.00		
	達成度(%)			100.0	0.0			
	②	指標内容	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.47	0.00	
				一般財源(単位:千円)		6.47	0.00	
				達成度(%)		0.0	0.0	
③	活動内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		実績値	(単位:)	0.00	0.00			
④	成果内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00		
		実績値	(単位:)	0.00	0.00			
(4) 総合評価	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		行政に対する情報公開の要求は高まっており、また活発な議会審議を行う上でも市の財政状況や事業の概要について資料を作成し、情報の提供を行う必要がある。事業費についても増大する見通しはなく適正であると考えており、今後も継続すべき事業であるとする。今後、議員のニーズを踏まえ、必要に応じて見直しを検討したい。					

## 事務事業分析シート

所属名	議会総務課	事業名	資料作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00819				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>90</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	議会総務課	事務事業番号	00819
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本市の事業概要、府内各市の予算・決算状況を踏まえての審議が必要なことから作成しているが、発行部数を減らすなどによりコストの削減に努めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	本会議放映事業				
担当部名	議会事務局	室課名	議会総務課	室課長名	議事課長 岡本 太郎

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成23年度	改正内容	なし				
(2)	直近の改正	なし						
(3)	根拠法令等	自治基本条例(第10条、第15条)						
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
		一部にチェックした場合はその説明						
(5)	総合計画の体系	章 2	市民自治が育む自立のまちづくり	節 2	細節 40			
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
		範囲等	市民、議員、職員					
		目標(どういう状態にしたいのか)	本会議の映像を放映することにより、市民と市政に関する情報を共有する。					
	結果(どのような効果が得られるのか)	市民の市政への関心を高め、市政への参画を促すことができる。						
(7)	事業概要	本会議の映像を撮影し、インターネットを利用して生中継及び録画放映を行う。また、会議録検索システムとの連動を行い、過去の映像及び会議録を同時に検索可能とする。						
(8)	H27事業別予算コード	会計 1	款 1	項 1	目 1	大事業 7	中事業 1	小事業 1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
		事業費(A)		1,719	1,621	1,740	1,646	1,697
		人件費	職員数	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
			総額(B)	4,150	3,974	4,176	4,176	4,085
		総事業費(A+B)		5,869	5,595	5,916	5,822	5,782
		特定財源(C)		0	0	0	0	0
		(内訳)	国	0	0	0	0	0
			府	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
		市負担(D)		5,869	5,595	5,916	5,822	5,782
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,869		5,595	5,916	5,822	5,782		
財源計(C+D)		5,869	5,595	5,916	5,822	5,782		
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施						
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)会議録研究所			
				②				
				③				
		主な委託内容		撮影データのインターネット配信業務等				
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	本会議のインターネット生中継	目標値	(単位:日)	26.00	26.00	26.00	
			実績値	(単位:日)	26.00	28.00		
			達成度(%)		100.0	107.7		
	目標値の積算方法	インターネット生中継実施日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		215.23	207.93	
				一般財源(単位:千円)		215.23	207.93	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	インターネット放映アクセス件数	目標値	(単位:件)	35,000.00	36,000.00	36,000.00	
			実績値	(単位:件)	15,734.00	14,598.00		
			達成度(%)		45.0	40.6		
	目標値の積算方法	市民の10分の1が年1回閲覧	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.36	0.40	
				一般財源(単位:千円)		0.36	0.40	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		近年、地方分権の推進や、地方議会改革が求められており、市民等への情報公開の必要性がますます高まる中、今後、本会議放映事業の重要度も一層高まるものと考えており、今後も継続すべき事業と考える。平成24年(2012年)9月定例会から一問一答方式の質問を導入するなど、市民により分かりやすくなるよう改革に取り組んでいる。今後も多くの市民に見てもらえるよう、積極的に広報を行うことなどを検討したい。					

## 事務事業分析シート

所属名	議会総務課	事業名	本会議放映事業	事業区分	その他
事務事業番号	00820				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	議会総務課	事務事業番号	00820
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成24年(2012年)3月定例会から実施しているが、本会議の審議状況を公開し、議会として積極的な情報公開、情報提供ができています。傍聴に来ることが困難な方に本会議の審議状況を公開することは、大変重要であり、議会改革の一環である「議会の見える化」が図れたと考えています。今後、多くの市民に見てもらえるような工夫等を検討していきたい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)